

鈴鹿第7地域包括支援センターだより

皆さんこんにちは。残暑が厳しいですが、規則正しい生活をして体調を整えましょう。

自分で行う 災害への備え

先日 8/8 に発生した地震と南海トラフ地震との関連について、巨大地震注意情報が発表されました。一時は緊張感が高まり、飲料水等が品薄になったり、非常持出袋の再確認をされた方も多いと思います。地震はいつ起こるか予測が出来ない為普段からの備えが大切です。

またこの時期は台風や大雨で、毎年大きな災害をもたらします。台風や大雨は、警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。

※ 鈴鹿市総合防災マップを活用しよう

(地区市民センター等で配布)

●自宅と避難所の危険度を確認しよう。

自宅や避難所、普段よくいる場所にはどのような危険があるかを各種ハザードマップで確認してみよう。

●家具等の転倒防止対策をしよう。

●非常持出品等の確認をしよう。

必要な物(防災マップ参照)をリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。



震災に便乗した 悪質商法に注意

見守り
新鮮情報

【事例 1】

見た目では自宅に被害はないが、訪問してきた工事業者に「このままでは危ない。すぐに工事が必要だ」と言われた。

【事例 2】

「保険金を使えばタダで住宅修理ができる」と言われたが本当か。

【事例 3】

市役所を名乗り、義援金を集めると訪問されたが信用できるか。

●地震等の災害が起こると、その際の混乱や被災者を支援したいという気持ちにつけ込んだ便乗商法と疑われる相談が寄せられます。今後、トラブルが広がる可能性がありますので、注意が必要です。

●住宅修理等の勧誘をされてもその場ですぐに契約せず、複数の事業者から見積もりを取ったり、周囲に相談したりした上で慎重に契約しましょう。頼んでもいないのに押しつけてきて、しつこく勧誘する事業者には特に注意してください。

●「保険金が使える」と言われてもその場ですぐに契約せず、加入先の保険会社や保険代理店に相談してください。

●公的機関が、電話や訪問等で義援金を求めることはありません。募っている団体等の活動状況や用途をよく確認しましょう。

■困ったときは鈴鹿亀山消費生活センター

(TEL:375-7611・消費者ホットライン188)へご相談ください。



ご相談・ご連絡は

鈴鹿第7地域包括支援センター りんどう

住所：鈴鹿市南若松町1番地（伊勢マリンホーム内）

電話：059-380-5280

「伸ばそう健康寿命☆高めよう地域力&Well-being」



〈スタッフ〉

主任ケアマネジャー	青島・伊藤
保健師	森重
社会福祉士	高畑・横地
ケアマネジャー	椎名・堀口・山本
事務員	片川

